

## グリム童話から読み解く中世ヨーロッパにおける人間と動物の関係

Relationship between Humans and Animals of Medieval Europe in  
Grimm's Fairy Tales

池田 千梨 (Seri Ikeda) 指導：三浦 慎悟

## 【目的・背景】

本研究では、グリム兄弟により編纂されたメルヘン集、『グリム童話集』から、中世ヨーロッパにおける人間と動物との関係性について読み解くことを目的とする。『グリム童話集』の物語には、中世ヨーロッパの社会状況を背景とした自然観や動物観が反映されており、森や動物に関しても多くの記述があるため、登場する家畜や野生動物の記述から、当時の動物と人間との関係性を読み取ることでできる貴重な資料の一つであると考えられる。グリム童話に関しては、中世ヨーロッパの歴史、文化、宗教などの面から多くの研究が行われているが、動物全般に特化した研究を行った例はない。本研究では、特に、①家畜や野生動物と人間との関係性、②登場する動物の習性や行動からみる動物観、③宗教的観点からみる動物観、の3点に注目し、中世の人々の自然観、動物観及び動物との関係性について考察する。

## 【方法】

## 1. 動物に関する記述のカウント

金田鬼一訳 (1979) 『完訳グリム童話集』(岩波文庫、全5巻) に記載されている動物に関する記述を抽出し、①KHM番号 (Kinder-und Hausmärchenでの確定番号)、②物語のタイトル、③記述のあるページ、④行、⑤動物名、⑥記述のある文章の冒頭、⑦用途、⑧その他備考、を記録した。次に、抽出した記述について、動物種数、全体の記述数、類別の記述数、種ごとの記述数、種ごとの用途の内訳を、Microsoft Excelを使用してカウントした。

## 2. カウント結果の分析

①カウントした全体、類別、種別の記述数、種別の用途の内訳からそれぞれの割合等を算出し、分析を行った。  
②カウントの結果、記述数が60以上になった動物種について、それぞれの傾向を、(1) 人間、人間生活との近接度、(2) 人間にとって益 (善) か害 (悪) か、(3) 宗教的観点から聖 (神) 的か悪魔 (邪) 的か、という3つの項目に分けて分析することとした。このとき、設定した基準に基づいて記述ごとに点数を与え、(1) ~ (3) について個別に点数を合計、算出した。さらに、その結果を用いて、(1) と (2)、(2) と (3) の組み合わせで散布図を作成し、種ごとの傾向を分析した。

## 【結果と結論】

『完訳グリム童話集』全5巻に登場した動物種は全124種 (動物一般を表す表現と原材料が特定できない動物由来の食料を除いた合計)、総記述数は全5231記述であった。全体として、記述数の多い動物種は、家畜 (家禽) や狩猟対象、飼育動物、害獣等として人間生活になじみのある種が列挙されていた。以下にその内訳を示す。

(1) 哺乳類……35種2999記述、(2) 鳥類……42種1229記述、(3) 爬虫類・両生類……7種192記述、(4) 魚類……11種188記述、(5) 甲殻類……3種12記述、(6) 昆虫類……22種188記述、(7) 空想の生物……5種146記述、(8) 動物一般……211記述、(9) 原材料不明の食料……66記述。

また、カウント結果、記述内容、散布図等を用いた分析の結果、グリム童話からは以下のことが読み取れた。

## 1. 家畜や野生動物と人間との関係性

①『グリム童話集』の中では、家畜、害獣、狩猟対象など、人間の実生活に切実に関係する動物の場合、宗教的な意味合いよりも家畜等としての役割のほうが重視されていた。  
②①のほうが重視されていたとはいえ、家畜等もやはり「動物や自然が持つ不思議な力」を持つと信じられていた。

## 2. 登場する動物の習性や行動からみる動物観

動物の性格付けは主にその生態から行われていた。日常生活で身近かつ特に害になることもさほどない動物は、善でも悪でもない「普通の人」として描かれる傾向が認められた。さらに、「悪者」という性格を持っている動物は、実際に野生動物 (害獣) としての脅威の度合いが高いほど、登場人物としての性格の「悪さ、恐ろしさ」の度合いも高くなるという傾向が認められた。

## 3. 宗教的観点からみる動物観

グリム童話においては、一部の記述、あるいは物語の流れ全体がキリスト教の影響を受けていると読み取れる物語でも、動物の持つ何らかの力や役割に関しては、キリスト教以前の信仰の名残・動物観がキリスト教的な動物観よりも多くみられた。また、「善悪の両義性をもつ」という自然信仰における動物観がみられた。すなわち、中世の農村部では、キリスト教以前の宗教観に由来する動物観が残っていたということが考えられた。